

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年11月29日

【評価実施概要】

事業所番号	0174600551		
法人名	株式会社 しらかば		
事業所名	グループホーム たんぽぽ		
所在地	北海道帯広市東5条南14丁目1番地1 (電話) 0155-20-5837		
評価機関名	タンジント株式会社		
所在地	北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1-6 旭川リサーチセンター内		
訪問調査日	平成19年11月28日	評価確定日	平成19年12月3日

【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成)15年4月21日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤 8人, 非常勤 8人, 常勤換算	9.55人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 造り		
	2階建ての ~ 2階部分		

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	22,500円	その他の経費(月額)	23,500円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		

(4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18名	男性 6名	女性 12名
要介護1	6名	要介護2	8名
要介護3	4名	要介護4	名
要介護5		要支援2	
年齢	平均 79歳	最低 57歳	最高 92歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人社団博仁会 大江病院 つがやす歯科医院 医療法人社団 イワタクリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホーム主催の「夏祭り」が開催されて地域住民や利用者・家族、他施設の職員・利用者の参加で盆踊りや出店が出され地域との交流促進やホーム機能の還元が行われたり、日常の取り組みが新聞記事で掲載されて認知症に対する理解や啓発に取り組みられています。ホーム内には、家族が宿泊可能な和室や会議室も用意されていたり、共用空間では、利用者が職員や来訪者の視線や圧迫感を遮る工夫された構造になっている。また、職員の自己啓発や知識習得へのモチベーションも高く、資格取得にはホーム長が積極的に支援しています。廊下の壁を利用して、職員と利用者が一緒になって季節ごとに「ちぎり絵」の作品をつくりあげ趣味を活かせる場の提供も行われています。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価では、運営理念の啓発に「ホーム便り」の発行がとりあげられていましたが、季節毎に「たんぽぽ通信」が発行されて行事参加の様子や感染症予防についての情報提供が行われ、日常生活の中で理念の浸透が行われるよう取り組まれています。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は、全ての職員が参加して行われ自己評価及び外部評価を実施する意義が理解されケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議は、評価日現在4回実施されています。議題については地域との協力体制について 火災など災害時の避難誘導について 残存機能の維持・向上の取り組みについて ホーム主催及び町内会行事参加について 次回の運営推進会議について
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 季節毎に「たんぽぽ通信」を発行して、利用者の日常の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、感染症予防についてなど家族に報告されています。また、状態変化など個々に合わせた報告も随時されて、家族の不安への対応や苦情、意見など言いやすい雰囲気づくりに取り組まれています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) ホーム主催の夏祭りなどの行事参加への呼びかけや町内会の清掃や焼肉などの行事に参加して、日頃より地域の人達との交流に取り組まれています。また、近隣への散歩や買い物、町内会役員が委員を務める運営推進会議での意見交換など日常生活を通じて地域との連携に取り組まれています。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念や理念を実践するための「五つの願い」「七つの誓い」をつくりあげている		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者、職員は理念を達成するために具体的な「五つの願い」「七つの誓い」を掲げその達成に向けて日々取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ホーム主催の夏祭りなどの行事参加への呼びかけや町内会の清掃や焼肉などの行事に参加して、日頃より地域の人達との交流に取り組まれています。また、近隣への散歩や買い物、運営推進会議での意見交換など日常生活を通じて地域との連携に取り組まれています。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は、全ての職員が参加して行われ自己評価及び外部評価を実施する意義が理解されケアサービスの質の向上に利用されています。また、外部評価の結果については運営推進会議に報告され改善の機会として取り組まれています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議については評価日現在4回開催されている。メンバーは家族、町内会役員、民生委員、老人クラブ役員、ボランティア連絡協議会役員及びホーム長・管理者・職員で構成され具体的改善に取り組んでいる。</p>		<p>今後は、さらに行政や包括支援センターの意見を求めながらサービスの質の向上に活かしていく取り組みが検討されています。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>事業所及びホーム長は、市との連携の重要性について認識しており、サービスの向上に日々取り組んでいる。</p>		<p>今後は、さらに地域の人達にも呼びかけて行政や包括支援センターと協働しながら具体的な講習会実施などを通じて、そこでの意見をサービス向上に活かす取り組みが検討されています。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>「たんぽぽ通信」を発行して、利用者の暮らしぶりやホーム行事参加の様子、感染症予防についてなど家族に報告されています。また、状態変化など個々に合わせた報告も随時行われ苦情、意見など言いやすい雰囲気づくりに取り組まれています。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>自己評価及び外部評価の結果について、運営推進会議で家族への報告や来訪時には気軽に話せる雰囲気づくりに取り組んだり、苦情相談窓口を明確にして気軽に意見や苦情・相談ができるように心掛け、それらを運営に反映させている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職率は低くまた、ホーム長・管理者は職員の異動などで利用者に影響を与えないように配慮する取り組みをしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	グループホーム協議会などの研修参加を積極的に奨励しています。また、研修参加者は職員会議で報告し、職員間で共有されている。ミーティングなどでもOJTの実施がされ職員を育てる取り組みがされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	ホーム主催の夏祭りでは、他の施設の職員や入居者も参加して盆踊りなどが行われ同業者との交流が行われています。また、同一法人の他施設や協議会などを通じて他施設との連携が行われています。		他施設との相互訪問については、今後少しずつ輪を広げていくよう計画されています。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく入居前には、利用者・家族の見学などで不安を解消する取り組みや、場の雰囲気に馴染めるよう工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員も利用者と一緒に食事の準備や後片付けをしたり、洗濯物たたみ、食器洗いや掃除、漬物漬けなど生活歴を把握しながら支援している。また、思いや意向を尊重して、貼り絵や花壇の手入れなどの趣味への支援など支えあう関係を築いている。		

外部 評価	自己 評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者一人ひとりの思いや希望を把握して、散歩や買い物で金銭を使う場面を見出したり、火気に注意しながら喫煙の支援をしたり、公園や菖蒲園へのドライブなど外出の機会を作るなど取り組みが行われている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護計画は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、利用者、家族の希望や医師からの助言・情報や職員からの意見を取り入れ具体的なものとなっている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>介護計画書に記載している個別の期間を目安に評価を行い、3ヶ月に一度計画的に見直しが行われています。また、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、現状に即した介護計画の見直しが行われています。</p>		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>本人や家族の状況に応じて、通院の支援や要望のある場合には散歩や買い物など柔軟に支援を行っている。また、医師の往診や理美容の出張サービスの利用など時々々の要望にも対応されています。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	利用者をよく知る看護職員が配置され利用者の主治医との連携で気軽に相談できる医師が確保されている。また、利用者、家族の希望や要望に応じて状態変化などについても往診など適切な医療が受けられるよう支援されている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した場合や終末期のあり方について、利用者・家族とも段階的に相談しながら慎重に検討対応するよう職員間で共有される取り組みがされている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりの誇りやプライバシーを尊重した言葉かけなど取り組まれています。また、記録等の個人情報の扱いについては、個人情報保護法に対応した配慮がされた取り組みが行われている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者一人ひとりの思いを尊重して、行事参加、散歩や買い物、入浴、食事の準備、掃除の手伝い、回転すしなどの外食、ドライブで気分転換を行うなど本人の希望やペースに沿って支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の力量や希望に応じて職員と一緒に食事の準備や片付けをしている。また、職員との会話で和やかな食事風景でした。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は基本的に決めているが利用者の希望に応じて対応している。また、週2回を目安に入浴が支援されている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの生活歴が把握され、花壇の手入れや野菜の栽培、カラオケでの歌唱、掃除、洗濯物干しや洗濯物たたみ、寿司・バイキングなどの外食や散歩、買い物、気分転換のためのドライブなど外出の機会もつくられている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホーム主催の夏祭りや盆踊りの参加、買い物や散歩、菖蒲園や公園までのドライブなど気分転換ができるように支援されている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、自由に出入りができるように取り組んでいる。また、利用者が外出する時は、職員が見守り安全面で配慮されている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	管理者は、防火管理者の資格を持ち火災避難訓練が年2回実施されています。また、消火設備についても点検が実施されると共に非常食も備蓄され緊急時の対策がされています。		救急救命の訓練は実施されている。今後はさらに定期的・継続的に実施できるように計画がされています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	具体的な栄養バランスや摂取カロリーについては、栄養士の指導・助言が行われています。また、水分・食事摂取量についても把握され、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者にとって気になる臭い、不快な音や光がないように取り組まれ、広い廊下や居間では、利用者が気になる職員や来訪者の視線や圧迫感を遮るように工夫された構造になっている。また、廊下では、歩行訓練のリハビリや一人になったり利用者同士談笑できるスペースが確保されている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族が宿泊できる和室や会議室が用意されている。また、居室には、仏壇や使い慣れた家具、テレビなどが持ち込まれ安心して過ごせる場となっている。		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票（様式1）を添付すること。